

令和2年度 測量士試験 午前 問題と解答 No11 (水準測量)

<R02-No11 : 水準測量 : 問題>

次の a ~ e の文は、公共測量における GNSS 測量機を用いた標高の測量（以下「GNSS 水準測量」という。）について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. GNSS 水準測量では、1 級及び 2 級 GNSS 測量機が使用できる。ただし、2 級 GNSS 測量機が使用できるのは、10 km 未満の基線の場合のみである。
- b. GNSS 水準測量で使用できる既知点の種類は、一～二等水準点、水準測量により標高が取り付けられた電子基準点及び 1～2 級水準点である。
- c. GNSS 水準測量では、国土地理院が提供するジオイド・モデルを用いることにより、周辺 6～40 km の範囲に 2 級水準点が設置できる。
- d. GNSS 水準測量では、元期からの地殻変動量が二重に補正されるおそれがあるため、セミ・ダイナミック補正は行わない。
- e. GNSS 衛星が送信している信号の大気遅延が高さ方向の精度に影響することから、寒冷前線・温暖前線が接近又は通過しているときなどは、原則として GNSS 観測を行わない。

- 1. a, b
- 2. c のみ
- 3. c, d
- 4. e のみ
- 5. 間違っているものはない